



今月の伝統お菓子「おはぎ」

こども食菜塾 2008 9 月活動

今年度第 2 回目の活動です。6 月にみんなで力を合わせて植えた稲がどうなっているのかが楽しみです。



田んぼの探検です！子どもたちは田んぼのまわりにいる生き物を発見しました。カエルやイモリ、クモや TENTUM シ。田んぼのまわりには、いろんな種類の生き物がいました。それら全てがいることで初めて、自分たちの食べるお米が

できること、そして田んぼがあることで生き物が生きる場所としても意味があることに驚いていました。その後、田んぼで見つけた生き物をそれぞれがスケッチしました。

岩野地区には川があります。お米作りには水が大切です。

岩野地区は 200 年ぐらい前から灌漑（かんがい）事業がなされている水の都です。そこで今回は、その水量豊富な川の探検隊です。

水着に着替えて川に向かいました。

「つめたい。」と言いながらも、にこにこ顔でみんな川に入っていきます。「うわ！すごい勢いだ。」あちらこちらで歓声があがっています。夏の終わりの川遊びにしばらくの間みんな夢中で楽しんでいます。そのうち川の中にある石を発見。白い石や茶色い石を使いながら「リーダー！これ字が書けるよ！」子どもたちは遊びの天才ですね。

あつという間に石をつかって、岩にいろんな文字や絵を書いていました。当日は天候もよく、川の活

動を楽しみにしてた子どもたちにとっては大満足のようでした。

やはり自然の中で遊びながらの体験、経験ってすごいとあらためて感じました。



今回の活動では 9 月の伝統お菓子である「おはぎ」づくりをしました。9 月と言えばお彼岸です。あんこが好きな子も、あまり得意

ではない子どももいましたが、伝統のお菓子だからみんなで作ることが大切なんだという話や時期だからこそのおはぎの由来についても学びました。

参加者からも「自分は好きじゃないけど家族に食べてもらうんだ！」なんていう声もありました。あんこもちろんな自家製です。もち米も羽釜で炊きました。みんな悪戦苦闘のおはぎづくりです。自分たちで作っているうちに手にくっついたあんこを食べる子どもも。「よく食べてみるとおいしいかも？」こうやって食べず嫌いがスキに変わるんですね。

秋の七草さがし。まずは自分たちでモノクロの写真に予想した七草の色を塗ってみました。見たことのないような色のナデシコやオミナエシ。実際に周辺をみんなで探してみました。

「こんな色してるんだね。」

「ねえ、リーダー。このお花なんてお花？」

秋の七草だけではなく、他のいろんな植物も見つけられました。たくさんの秋と不思議が発見できたようです。

秋の野に咲く彼岸花の赤い色がとてもきれいでした。

まだ日射しに真夏を感じながらも、田んぼ周辺でいろんな秋を見つけることができました。

次回の活動は「稲刈り」です